

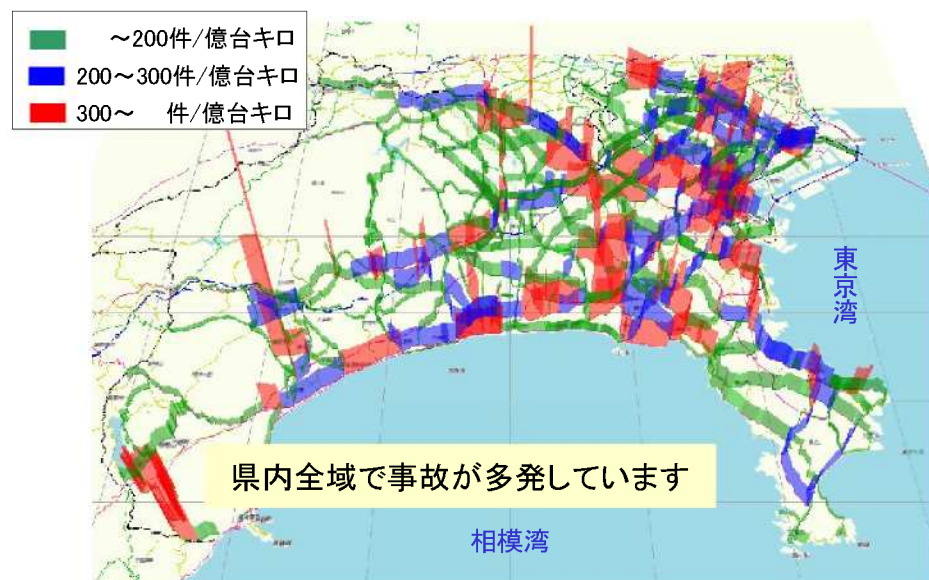


安全ドライブのびのび道路

指標2. 死傷事故率

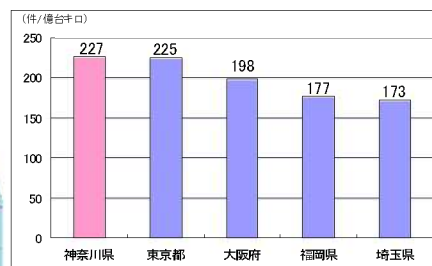
神奈川県は全国ワーストクラスの事故多発県です

県内全域で事故が多発し、全国ワースト1位の死傷事故率となっています。

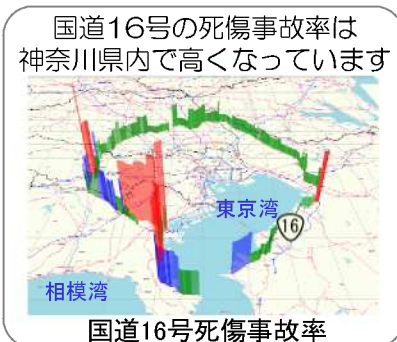


死傷事故率(平成16年)

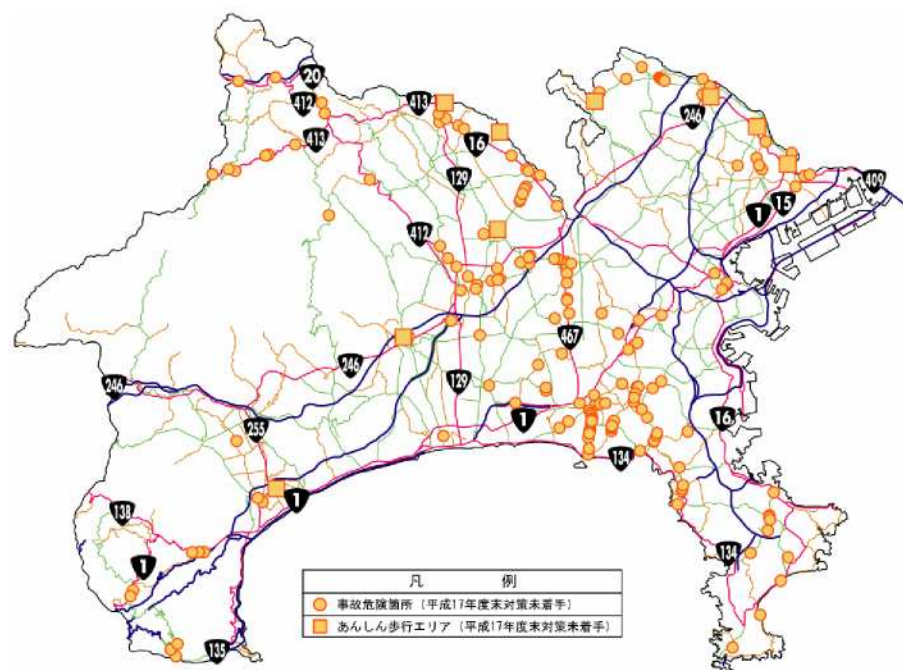
出典:国土交通省資料



死傷事故率(平成17年)(全国ワースト5位)



■対策未着手の事故危険箇所は168箇所、あんしん歩行エリアは9箇所存在
対策未着手の事故危険箇所・あんしん歩行エリアは、依然県内に多く残っています。



神奈川県の事故危険箇所、あんしん歩行エリア(平成17年度末)

出典:神奈川県道路協議会資料



事故危険箇所、あんしん歩行エリアに対策を行いました

◆89箇所の事故危険箇所の対策に着手しました

県内で390箇所指定されている「事故危険箇所」の内、平成17年度は89箇所に対策着手しました。その結果、未着手箇所は168箇所となりました。



国道16号 淵野辺交差点整備事例



整備後

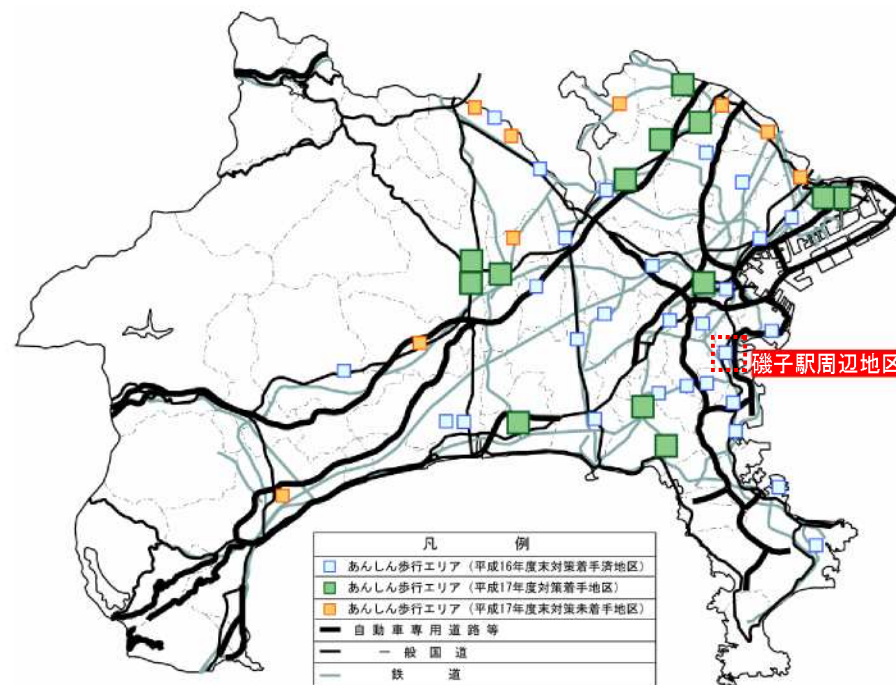


※1 舗装の色を変えることにより、交差点の識別性を高めます。
※2 高輝度化することにより、夜間でも見えやすくします。

出典:国土交通省資料

◆13箇所のあんしん歩行エリアの対策に着手しました

県内で50箇所指定されている「あんしん歩行エリア」の内、平成17年度は13箇所に対策着手しました。その結果、未着手箇所は9箇所となりました。



横浜市磯子駅周辺地区整備事例



整備後



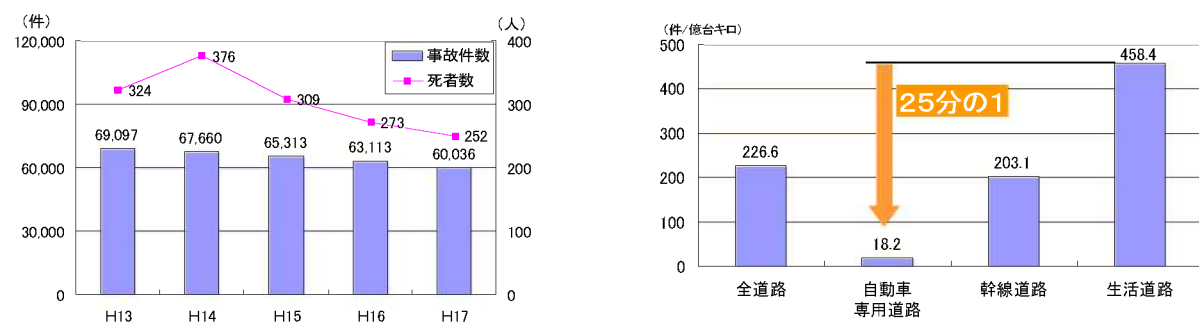
出典:国土交通省資料



事故件数が減少し、事故率も減少しました。

◆死傷事故率が減少し、目標達成しました

事故件数が約3,000件減少し、事故率も減少しました。道路種別別に見ると、自動車専用道路の事故率が最も低くなっています。



神奈川県の事故発生件数と死者数の推移
出典：交通年鑑(平成17年)

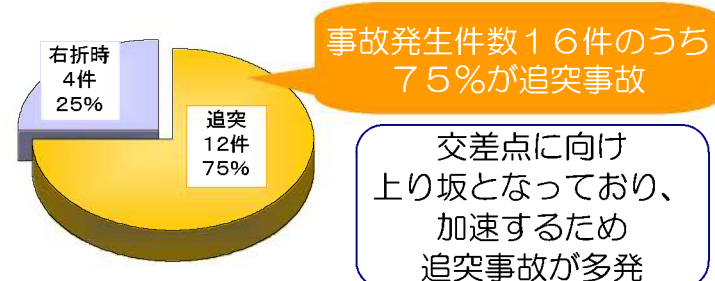
神奈川県道路種別別死傷事故率
出典：平成17年度道路行政の達成度報告書、平成18年度道路行政の業績計画書(国土交通省)

成果指標	H16現況値	H17目標値	H17実績値	達成状況
死傷事故率	233 件/億台キロ	233 件/億台キロ	227 件/億台キロ	達成

「国道1号 清掃事務所入口交差点」 事故対策が終了し、事故が減少しました。



位置図

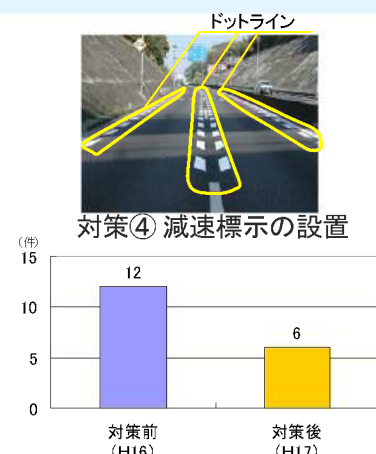


清掃事務所入口交差点の事故発生状況
出典：交通事故総合データベースH13～H15

対策実施により事故件数が半減



「追突事故」防止を目的とした対策メニュー



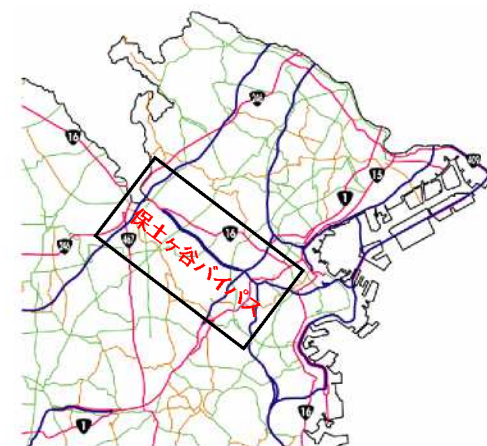
清掃事務所前交差点事故件数



事故削減に向けた取組みを進めていきます

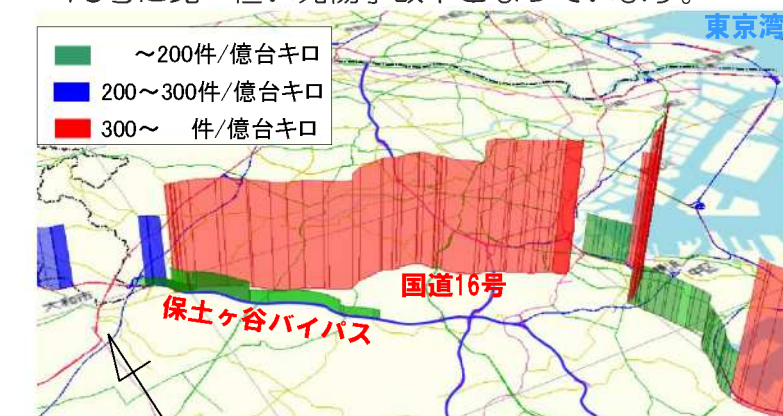
◆死傷事故率の低い自動車専用道路の整備を進めます

【保土ヶ谷バイパス】



事業位置図

■保土ヶ谷バイパス(自動車専用道路)は、国道16号に比べ低い死傷事故率となっています。



◆事故危険箇所等への対策を進めていきます

長期的対策にあわせ、路面標示や注意喚起看板等の短期対策も実施



事故対策例



今年度も事故削減に向けた対策を進めていきます

◆自動車専用道路の整備を推進します

◆事故危険箇所、あんしん歩行エリアへの対策を進めます。

成果指標	H17実績値	H18目標値	【参考】概ね10年後
死傷事故率	227 件/億台キロ	227 件/億台キロ※	削減

※死傷事故率の平成18年度目標値については、自動車専用道路をはじめとする規格の高い道路が供用しないため、現状維持となっています。